1. 東京歯科大学市川総合病院における病院感染対策のための指針

平成 19 年 10 月 18 日
制 定

東京歯科大学市川総合病院（以下、「本病院」という。）は、本病院の理念及び基本方針に基づき、患者様、御家族様等全ての来院者及び病院職員に、安全、安心で良質な医療環境を提供するため、感染防止及び感染制御対策に取り組むための基本的な考え方等を以下の通り定める。

(1) 病院感染対策に関する基本的な考え方

病院感染防止に留意し、感染症発生の際は、原因の可及的速やかな特定、制圧、終息を図る必要がある。このため、病院感染防止対策を全病院職員が把握し、本病院の理念及び基本方針に則った医療が提供出来るように、本指針を作成する。

(2) 感染予防対策室の設置

- 1) 本病院における感染対策を強化するため、感染管理の一元化を図り、病院感染制御の窓口及び ICT（感染制御チーム）業務の拠点として、機能的に対処する目的で、医療安全管理部に感染予防対策室を設置する。
- 2) 感染予防対策室の業務、運営等については、「東京歯科大学市川総合病院医療安全管理規程」に定める。

(3) 感染制御委員会の設置

- 1) 本病院における感染予防及び対策に関する事項を調査審議し、その充実を図り、衛生管理に万全を期するため、感染制御委員会を設置する。
- 2) 感染制御委員会は、本病院内の各部門代表を構成員とする組織横断的な委員会である。
- 3) 感染制御委員会の業務、組織及び運営等については、「東京歯科大学市川総合病院医療安全管理規程」に定める。

(4) ICT 委員会の設置

- 1) 本病院における感染制御の実践業務を行い、医療現場における感染対策の推進及び病院感染管理に係わる指導を行う目的で、ICT 委員会を設置する。
- 2) ICT 委員会は、本病院の感染予防及び対策の実働部隊である。
- 3) ICT 委員会の業務、組織及び運営等については、「東京歯科大学市川総合病院 ICT

委員会規程」に定める。

(5) 病院職員に対する研修

- 1) 病院感染防止対策の基本的な考え方及び具体的な方策について、病院職員へ周知徹底させるために研修会を開催し、併せて病院職員の感染対策に対する意識向上を図る。
- 2) 職員教育の一貫として、全職員を対象に随時研修会等を開催する。
- 3) 研修の開催結果は記録し、保存する。

(6) 病院感染発生状況の報告

- 1) 抗菌薬耐性菌の検出状況は、臨床検査科より ICT 委員会等に週 1 回報告される。また、レポートは ICT ラウンド等で活用し、アウトブレイクに対応する。
- 2) 病原菌の検出状況は、臨床検査科より感染制御委員会に月 1 回報告される。また、抗菌薬耐性菌感染症、市中感染症等の院内発生に伴う病院感染拡大を防止するために、重要な感染症の発生状況は感染制御委員会を通じて、全病院職員に速やかに周知する。

(7) 病院感染発生時の対応

感染症患者が発生した場合は、以下の対応を行う。届出義務のある感染症の場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）に基づいて、行政機関に報告する。

なお、感染症患者とは、感染症法に規定されている対象患者、病院感染の恐れがあると判断される者全てをいう。

1) 通常時の対応

感染症患者が発生した場合は、主治医・発生部署の所属長より感染制御委員長宛に、「感染症発生届（院内）」を提出する。

2) 緊急時の対応

- ①病院感染発生の緊急時（重大な病院感染等の発生）には、病院感染の発生部署の所属長又は主治医より、感染予防対策室長及び感染制御委員長に直ちに報告する。また、行政機関に速やかに報告し、連携して対応にあたる。
- ②感染予防対策室長及び感染制御委員長は、速やかに感染制御委員、ICT 委員及び関係部署の病院職員等をメンバーとする緊急対策チームを編成する。
- ③緊急対策チームは、可及的速やかに病院感染発生の原因を究明し、改善策を立案し、直ちに実施する。また、患者、家族等への対応状況を把握する。
- ④病院感染に対する改善策の実施結果は、感染制御委員長を通じて速やかに全病院職員へ周知する。

⑤感染予防対策室長は、病院感染発生状況及び患者への対応等を医療安全管理部長に報告する。

3) 病院感染発生調査及び対応に関連して、知り得た患者等の個人情報については、法令を遵守しながら慎重に取り扱う。

(8) 患者等への情報提供と説明

1) 本指針は、患者、家族等に感染対策への理解と協力を得るため、院内掲示等を行い、閲覧の推進に努める。

2) 疾病とともに、感染防止の意義及び基本手技（手洗い、マスク使用等）についても説明し、理解を得た上で協力を求める。

(9) 病院における感染対策の推進

1) 本病院に勤務する全ての者は、法令等を遵守する。また、医療を行う際は、自らの責任において病院感染防止に努めるものとする。

2) 病院職員は、自らが感染源にならないために、定期健康診断を年 2 回受診し、健康管理に留意する。また、ワクチン接種等に関しては、本病院の方針に従い、積極的に参加する。

3) 病院感染対策の推進のため、「感染制御マニュアル」（以下、「マニュアル」という。）を整備し、病院職員への周知徹底を図る。病院職員はマニュアルを遵守する。

4) マニュアルは、必要に応じて見直しを行い、改訂結果は職員に周知徹底する。

附 則

本指針は平成 19 年 10 月 18 日から施行する。

附 則

本指針は平成 22 年 5 月 20 日から施行する。

附 則

本指針は平成 25 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

本指針は平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

本指針は平成 29 年月 1 日から施行する。

附則

本指針は平成 30 年月 1 日から施行する。